

平成 22 年 9 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社ユニバーサルエンターテインメント
 代表者名 代表取締役副会長 北畠 光弘
 (JASDAQ・コード 6425)
 問合せ先 経営企画室 広報・IR チーム
 部長 工藤 正尚
 電話 03-5530-3055 (代表)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 22 年 6 月 8 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

業績予想の修正について

平成 23 年 3 月期第 2 四半期 (累計) 連結業績予想数値の修正 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回予想 (A)	百万円 24,400	百万円 2,200	百万円 700	百万円 600	円 銭 7.51
今回修正 (B)	11,600	△2,300	△1,800	△1,800	△22.58
増減額 (B - A)	△12,800	△4,500	△2,500	△2,400	—
増 減 率 (%)	△52.5	—	—	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四半期)	20,220	3,443	1,411	787	9.85

平成 23 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想 (A)	百万円 56,100	百万円 7,700	百万円 4,700	百万円 4,000	円 銭 50.08
今回修正 (B)	48,400	6,100	6,100	4,100	51.45
増減額 (B - A)	△7,700	△1,600	1,400	100	—
増 減 率 (%)	△13.7	△20.8	29.8	2.5	—
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 3 月期)	39,526	5,343	1,151	18,626	233.22

平成 23 年 3 月期第 2 四半期 (累計) 個別業績予想数値の修正 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回予想 (A)	百万円 22,900	百万円 2,500	百万円 2,500	百万円 2,400	円 銭 30.05
今回修正 (B)	10,600	△2,800	△2,800	△2,800	△35.13
増減額 (B - A)	△12,300	△5,300	△5,300	△5,200	—
増 減 率 (%)	△53.7	—	—	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四半期)	—	—	—	—	—

平成 23 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想（A）	百万円 53,100	百万円 8,300	百万円 8,300	百万円 7,900	円 銭 98.91
今回修正（B）	46,500	4,600	4,500	3,800	47.68
増減額（B－A）	△6,600	△3,700	△3,800	△4,100	－
増 減 率（％）	△12.4	△44.6	△45.8	△51.9	－
（ご参考）前期実績 （平成 22 年 3 月期）	32,354	3,905	3,466	△5,763	△72.16

修正の理由

<連結>

[第 2 四半期（累計）]

当社グループは、第 1 四半期において『SLOTとんでも戦士ムテキング』を市場投入いたしました。当初「ロケーションテスト」※ を通じて市場情報・顧客情報を入手・分析し、これを販売戦略に活用する方針で進めてまいりました。しかしながら実際の営業に際して、販売戦略の浸透が十分でなく、製品特性をホール様にご理解頂くことが出来ず、『SLOTとんでも戦士ムテキング』の販売台数は当初の予想を大幅に下回りました。

その結果第 1 四半期の当社全体での販売台数は 4 千台程度となりました。

第 2 四半期においては、パチンコ機『CRミリオンゴッドプレミアムV』、パチスロ機『デビルマンⅡ悪魔復活』を投入いたしました。これら新タイトルは顧客より高い評価をいただいております。第 2 四半期では当社全体で 23 千台程度の販売台数が確定いたしました。しかしながら、第 1 四半期の不振を補う事ができず、第 2 四半期累計販売台数は当社全体で約 27 千台と、当初に予想していた 6 万台は未達となります。これに伴い、売上高を平成 22 年 6 月 8 日に発表した予想額に対して上記の通り修正いたします。

営業利益については、売上高が当初予想に対して未達成となることに伴い、上記の通り修正いたします。

経常利益については、営業利益の修正はあるものの、持分法適用会社であるウィン・リゾーツ社の業績が当初予想を上回って推移していること、また当初予想していなかった為替差益の発生が子会社において発生したこと等により上記の通り修正し、また四半期純利益も修正いたします。

※ 店舗・期間を限定して機械をホールにテスト設置すること。ユーザーの意見の取入れ、市場調査などを目的とする。

[通期]

第 3, 4 四半期につきましては、営業体制を再編強化し、販売戦略をより徹底いたします。大型タイトル「緑ドン G」は第 3 四半期に 6 万台の販売を予定しており、第 4 四半期には他の複数のタイトルで 26 千台程度の販売を見込んでいます。この結果、パチスロ・パチンコ機の当社全体の販売台数は第 3, 4 四半期合計で 8 万 6 千台程度と当初の予想（8 万台）を上回り、同期間では売上高の上振れを見込んでおります。これに加えて経費の圧縮により、営業利益は大幅に改善します。またウィン・マカオ社の好調に支えられたウィン・リゾーツ社の安定した業績による当社持分への寄与が見込まれること等によって、経常利益、当期純利益の改善を予想しています。

以上の結果、通期では当初販売予想台数 14 万台に対して、11 万台余りと第 1 四半期の売上不振により、販売台数は下振れし、これにより売上高は当初計画を下回ります。しかしながら当期純利益は上記第 3, 4 四半期の要因により当初予想に比して若干上回ると予想しています。これらに伴い通期業績予想を上記の通り修正いたします。

なお、今後修正等の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

<個別>

連結業績予想数値の修正に記載の通りです。

※上記の業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいたものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって記載内容と異なる可能性があります。

以 上